

大分県
初公開

国宝 古今伝授の太刀
10月15日(水)から展示



国指定重要文化財 白檀塗浅葱糸威腹巻(杵原八幡宮蔵)

令和七年度
特別展

豊後国行平

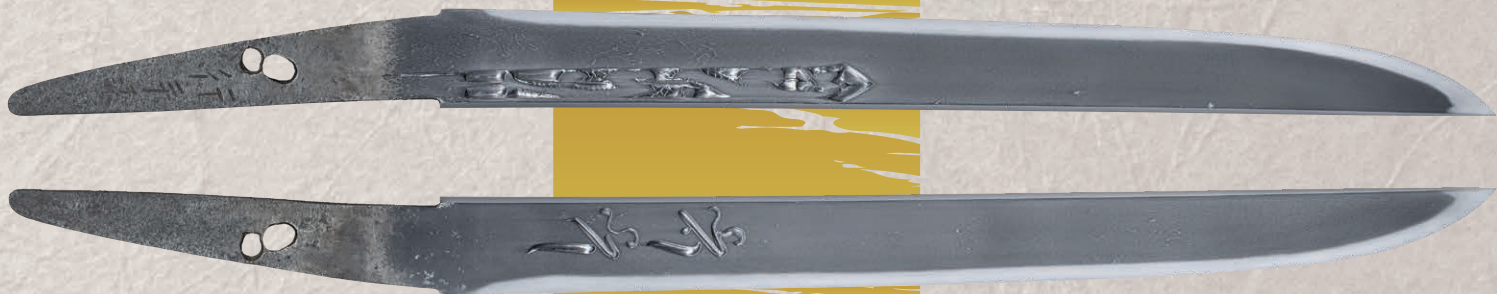
「祈り」の刀剣

平安時代後期に始まる日本刀の歴史において、九州では、筑後国の光世、薩摩国の波平行安とともに、豊後国の行平が俗に「古作」の名工として知られている。郷土おおいたを代表する刀工行平は、一説に後鳥羽上皇の御番鍛冶を務めたともいわれ、またすでに鎌倉時代には偽銘が切られていたと伝わるなど、その作品は古くから高く評価されていた。実際、現存する行平の作品は、そのほとんどが奉納刀、あるいは将軍家や有力大名家に伝来してきたもので、800年余りにわたる日本の歴史とともに伝わってきた日本刀ということができる。

この特別展では、名工行平の作品を一堂に集め、作品の背景にある歴史とともにその魅力を紹介する。また、定秀や神息など、おおいたの古刀期を代表する刀工たちの作品や、行平に関連する作品をあわせて展示し、おおいた刀剣史上における行平の位置を紹介したい。この展示を通して、豊後刀の「美」とは何か、さらに刀剣に込められた「祈り」とは何だったのか、改めて考えたい。

展示構成

- プロローグ おおいたの鉄ー豊後刀の背景ー
- 第一部 行平の時代
- 第二部 名工行平
- 第三部 行平の周縁ーおおいたの古刀ー
- 第四部 高田鍛冶の隆盛
- 第五部 刀剣に込められた「祈り」
- エピローグ 行平伝承



短刀 銘「行平作」(大分県立歴史博物館蔵)



宇佐風土記の丘

大分県立歴史博物館

OITA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒872-0101 大分県宇佐市大字高森字京塚

TEL 0978-37-2100 FAX 0978-37-2101

<https://www.pref.oita.jp/site/rekishihakubutsukan/>

〈交通案内〉
車

東九州自動車道「宇佐IC」より12分

東九州自動車道「院内IC」より15分

タクシー

JR柳ヶ浦駅から5分

JR宇佐駅から10分

